

## 乳頭筋が関与したと考えられる short coupled variant TdPの1例

中野 誠 相澤健太郎 長谷部雄飛 三木景太  
諸沢 薦 林 秀華 下川宏明

症例は68歳男性。基礎心疾患を有さず、心機能は保たれている。Torsade de pointes (TdP)の既往あり、完全皮下植込み型除細動器(S-ICD)を植込んだところ、今回、TdPによるS-ICD作動を呈し、入院した。入院後も自然停止するTdPが頻発、数回は持続しS-ICD作動を呈した。Trigger心室期外収縮(PVC)の焼灼により治療しうる可能性を考え、カテーテルアブレーションを行う方針とした。TdPのtriggerとなると考えられたPVCは2種類(PVC1, 2)あり、PVC1は右室乳頭筋起源と考えられ、通電した。PVC2は偽検索を認める左室心尖部からやや側壁側の筋肉起源と考えられ、通電した。PVC2連発にても持続するTdPが誘発されず、手技を終了した。しかし、数日後TdPによるS-ICD作動の再発を認め、再アブレーションを施行した。TdPのtriggerとなるPVCは前回とやや形が異なっており、PVC3は左室中隔側の肥厚した筋肉起源と考えられた。その後の誘発では、PVC2連発で容易にNSVFが生じたため、誘発時にtriggerとなっていたPVC4に合致した前乳頭筋基部側を通電した。その後、PVC3連発でやはりNSVTが生じ、triggerとなるPVC5は右室乳頭筋起源と考えられたため、通電した。最終的にはPVC3連発でVF誘発不能(最大4連まで)を確認し、手技を終了した。術後S-ICD作動なく経過している。

**Keywords**

- torsade de pointes
- 心室期外収縮
- 乳頭筋

東北大学大学院循環器内科学  
(〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1)

*A Case of Short Coupled Variant of Torsade de Pointes Triggered by Premature Ventricular Contractions from Papillary Muscles*  
Makoto Nakano, Kentaro Aizawa, Yuhi Hasebe, Keita Miki, Susumu Morosawa, Hideka Hayashi, Hiroaki Shimokawa